

計量法校正事業者登録制度

JCSS : Japan Calibration Service System

制度概要

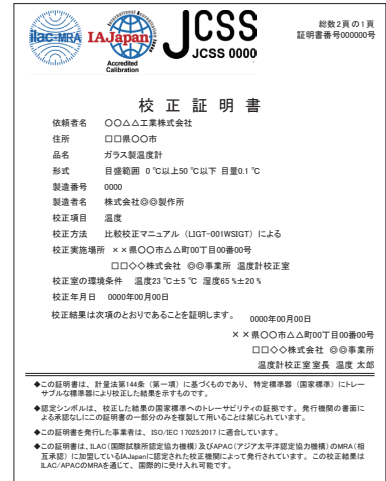


計量法校正事業者登録制度（JCSS : Japan Calibration Service System）は、計量法関連法規及び ISO/IEC 17025 の要求事項に基づいて、計測器等の校正を実施する校正事業者が、適切なマネジメントシステムと技術能力を持っていることを審査し、登録するプログラムです。

JCSS 登録事業者が登録された範囲内で校正を実施した場合、JCSS 標章のついた校正証明書（JCSS 校正証明書）を発行することができます。これは計量トレーサビリティの確保された信頼ある校正結果であることの証明となります。

また、国際 MRA 認定を取得した場合、国外取引においても計測の信頼性確保とトレーサビリティ証明が容易になります。

信頼性のある国家計量標準への計量トレーサビリティを確保することで、様々な試験・校正結果の信頼性を根幹から支えるという重要な役割を担っています。



JCSS の登録区分 (2019.06.01 時点)

1. 長さ	6. 角度	11. 電気 (直流・低周波)	16. 圧力	21. 濃度
2. 質量	7. 体積	12. 電気 (高周波) 及び電磁界	17. 粘度	22. 放射線・放射能・中性子
3. 時間・周波数及び回転速度	8. 速さ	13. 密度・屈折率	18. 熱量	23. 硬さ
4. 温度	9. 流量・流速	14. 力	19. 熱伝導率	24. 衝撃値
5. 光	10. 振動加速度	15. トルク	20. 音響・超音波	25. 湿度

活用事例

・環境配慮への貢献

大気汚染物質の環境への放出は、発生源を長期にわたり監視することが必要です。これら監視用の分析機器を精度管理するために用いられる標準物質には信頼性が必要とされますが、JCSS 校正証明書が添付された標準物質を継続的に使用することで長期にわたり信頼性の高い濃度変化の観測が可能になります。これにより、大気汚染対策の効果や地域の特性などを長期的かつ正確に把握することに貢献しています。

・認証制度への活用

自動車セクター規格 IATF 16949 認証の試験所要求事項や UL 認証の校正要求事項においては、外部校正機関の要件として ISO/IEC 17025 に適合していることが推奨されています。JCSS を取得した校正機関は、ISO/IEC 17025 への適合と国家計量標準へのトレーサビリティが確保できているため、IATF 16949 認証や UL 認証の要求事項を満たしていることの表明が可能になります。

JCSS 活用事例の紹介

JCSS の各分野での利用・活用事例を NITE ホームページで公開しています。
https://www.nite.go.jp/iajapan/jcss/information/info_20150901.html
 右記 QR コードよりご覧いただけます。



お問い合わせ先



独立行政法人 製品評価技術基盤機構 (NITE)
 認定センター (IAJapan) 〈JCSS 担当〉
 Tel. 03-3481-8242
 Fax. 03-3481-1937
<https://www.nite.go.jp/iajapan/jcss/>